

## 第17回えいが部「野獣死すべし（1980年）」

### <あらすじ>

大学院に籍を置く学生、伊達邦彦は戦争で心に傷を受けた世代の生き残り。普段は物静かな秀才として平穏な日々を送っているが、それは表向きの顔にすぎない。彼の心の奥底には暗い憎悪と熱い怒りが渦巻き、影では射撃、スポーツ、特殊技術の習得にストイックに没頭していた。この世で信頼するものは金と武器、そして力。やがて彼は、心に巣食う闇と日頃培った能力を解き放つかのように、空前の完全犯罪を計画する。最初の殺人、強盗を犯し、逃げおおせる伊達。ただ己のみを信じ、何者をも拒むローンウルフ、伊達邦彦。“野獣”は野に放たれ、物語は幕を開けた…。

### <スタッフ>

監督：村川透

・白い指の戯れ（1972年6月7日 / 日活）

◎大都会シリーズ（1976-79年/日本テレビ、石原プロモーション）

・最も危険な遊戯（1978年4月8日 / 東映セントラルフィルム、東映芸能ビデオ）

・殺人遊戯（1978年12月2日 / 東映セントラルフィルム）

・蘇える金狼（1979年8月4日 / 角川春樹事務所、東映）

・処刑遊戯（1979年11月17日 / 東映セントラルフィルム）

◎探偵物語（1979年 - 1980年 / 日本テレビ、東映芸能ビデオ）

・シングル・ガール（1983年6月4日 / 松竹）

・侠女十三妹（1986年11月11日 / 東京国際ファンタスティック映画祭実行委員会、北京電影制片廠、ツジオプチカル研究所） - 中国・日本合作 / 共同監督:楊啓天

・行き止まりの挽歌 ブレイクアウト（1988年7月30日 / につかつ）

・もっともあぶない刑事（1989年4月22日/東映、日本テレビ放送網、セントラルアーツ、キティ・フィルム）

・押忍!!空手部（1990年3月17日 / エクセレント・クリエイティブ）

・BEST GUY（1990年12月15日 / 東映、ウイングス・ジャパン、東北新社、三井物産）

原作：大藪春彦

・蘇える金狼

・汚れた英雄

・復讐の掟

・東名高速に死す

・処刑軍団

### <キャスト>

松田優作

・狼の紋章、東宝、監督: 松本正志 - 羽黒寧 役 1973

・竜馬暗殺、映画同人社・ATG、監督: 黒木和雄 - 右太 役 1974

・暴力教室、東映、監督: 岡本明久 - 溝口勝利 役 1976

・人間の証明、東映・角川映画 - 棟居刑事 役 1977

・最も危険な遊戯、東映セントラルフィルム、監督: 村川透 - 鳴海昌平 役 1978

・ヨコハマBJブルース、東映セントラルフィルム、監督: 工藤栄一 - BJ 役 1981

・陽炎座、シネマ・プラセット、監督: 鈴木清順 - 松崎春狐 役 1981

・ア・ホームンス、東映・キティフィルム、監督: 松田優作 - 風 役 1986

・ブラック・レイン、ジャッフェ、ランシング・プロ、監督: リドリー・スコット - 佐藤浩史 役 1989

## 室田日出男

- ・二兎目は地獄行きだぜ（1960年、東映） - 鳴風組の子分
- ・飢餓海峡（1965年、東映） - 記者 A
- ・女囚 701 号/さそり（1972年、東映） - 仲崎
- ・仁義なき戦いシリーズ（東映） 1973-4年
- ・人間の証明（1977年、角川映画 / 東映） - 横川の警官
- ・影武者（1980年、東宝 / 黒澤プロ） - 馬場信春
- ・魔界転生（1981年、角川映画 / 東映） - 宝蔵院胤瞬
- ・鬼龍院花子の生涯（1982年、東映）
- ・戦場のメリークリスマス（1983年、大島渚プロダクション / テレビ朝日） - ゴンドウ大尉
- ・ドグラ・マグラ（1988年、活人堂シネマ） - 若林博士
- ・鏡の女たち（2002年、グローヴコーポレーション） - ※遺作

## 鹿賀丈史(劇団四季出身)

- ・悪霊島（1981年） - 主演・金田一耕助
- ・麻雀放浪記（1984年） - ドサ健
- ・キャバレー（1986年） - 滝川
- ・木村家の人びと（1988年） - 主演・木村肇
- ・ゼロの焦点（2009年） - 室田儀作

(松田優作の役作り)

主演の松田優作は、クランクイン前に「役作りのために少し時間が欲しい」として、しばらくの間スタッフと音信を絶っている。その間に松田は 10kg 以上減量し（検量してみたところ 62kg まで落ちていた）、更に頬がこけて見えるようにと上下 4 本の奥歯を抜いたという[2]。約 1 ヶ月後、撮影所に現れた松田の痩せ細った姿に監督の村川透が激怒し、松田と激しい口論を始めたという逸話も残されている。また、役になりきる上では身長が高過ぎるという理由で「可能なら足を 5cm 程切断したい」と真剣に語っていたとも伝えられている。なお、撮影当時の松田の公称身長は 185cm（美智子元夫人の著書『越境者 松田優作』によれば実際には 183cm）、物語における主人公の身長設定は「180cm 前後」もしくは「180cm 以上」とされており、数値だけを見ればさほど差があるわけではない。

(劇中で朗読する詩：漂泊者の歌/萩原朔太郎)

陽は断崖の上に昇り、憂いは陸橋の下を低く歩めり

無限に遠き空の彼方、続ける鉄路の柵の筈に、ひとつの淋しき影はただ

嗚呼、汝漂泊者

過去より来たりて未来を啜り、久遠の郷愁を追いゆく者

如何なればそうじとして、時計の如くに憂い歩むぞ

石持て蛇を殺す如く、ひとつの輪廻を断絶して、意志無き寂寥をふみきれかし

嗚呼、悪魔よりも孤独にして、汝は氷霜の冬に耐えたるかな

かつて何者をも信ずることなく、汝の信ずるところに憤怒を知れり

かつて欲情の否定を知らず、汝の欲情するものを弾劾せり

如何なればまた憂い疲れて、優しく抱かれキスする者の家に帰らん

かつて何者をも汝は愛せず、何者もまたかつて汝を愛せざるべし

嗚呼、汝寂寥の人

哀しき落日の坂を昇りて、意志無き断崖を彷徨い行けど

何処に家郷は在らざるべし、汝の家郷は在らざるべし